

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅前四丁目第二地区 住宅施設棟・住宅棟地庫	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目16,17,18	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	329 人
地域区分	7地域	年間使用時間	6,570 時間/年
建物用途	集合住宅、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2016年11月1日
敷地面積	2,827 m ²	作成者	林 琢磨
建築面積	1,754 m ²	確認日	2016年11月7日
延床面積	14,213 m ²	確認者	佐々木 優

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 72% (33 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 72% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 72% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高度な発展が進む博多駅前地区で、住居とバスターミナルを含む複合施設計画を動線・景観・まちづくりを軸に都心のにぎわいづくりの融合を目指している。		
Q1 室内環境 断熱性能を高め、空調設備はルームエアコンと床暖房を併用しており、快適性に優れている。	Q2 サービス性能 十分な階高と開放的な形状により空間にゆとりを持たせている他、耐用年数の長い部品・部材を用いるため、機能性に優れている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境との調和を図るための考慮が十分になされ、屋上緑化や外構緑化に努めることで良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 断熱材の厚みを増したり、住居の給排水、空調設備をエネルギー効率の良いものを採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器やリサイクル材を使用することで、環境に悪影響を及ぼさないようにしている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される